

大曲中学校生活だより

心もつないで

北広島市立大曲中学校
生徒指導部通信

令和3年7月16日(金)

TEL 011-376-2354

FAX 011-377-3419

「スマホ・ケータイ安全教室」開催

昨日、札幌法務局監修で、KDDIの浅見洋さん、北広島市人権擁護委員の川向康文さんをお迎えした「スマホ・ケータイ安全教室」を学年別に開催しました。依存症や誹謗中傷、オンラインゲーム、動画や画像の投稿から起きたトラブルなど、学年ごとに映像資料やお話の内容を選んでいただき、わかりやすく、心に響く内容でした。

ほんの一部ですが、感想を紹介します。

- ・インターネットで今日の動画のようなことが現実におきてくることを知って驚きました。自分がこういったことに巻き込まれないように気をつけて、便利なスマホを活用していきたいと思いました。
- ・私はこれから、スマホをベッドの中に持って行くのをやめようと思いました。目にも悪いし、時間の感覚もわからなくなると教えてもらったからです。
- ・変えようと思っても変えられない気持ちは分かるから、ちょっとずつ直していこうと思います。
- ・自分のやりたいことを優先して友達が離れていくのがやばいと思った。優先順位を考えなきゃと思った。
- ・1個目の動画の、ステータスをぐちとか悪口にしてたのは、身のまわりでも何度か見たことがあったから、そういう事が深刻になっていくのがこわかった。
- ・自分はSNSをよく使うので、SNSで何かを発信する前に1回落ち着いてよく考えてから、発信するか、直すかやめるかをよく判断することを心がけます。

インターネットを利用したコミュニケーションは、これからの時代を生き抜く皆さんにとって、欠かせないものであることは間違いありません。だからこそ、うまく付き合っていける人になってほしいのです。最近もトラブルの相談や指導の例がありましたが、親子ともに「こんなことになるとは思わなかった」「こんな状況だとは知らなかった」という感想が大半でした。ネットをめぐる問題は、最終的に関わった本人や保護者がその責任を負うこととなります。今日のお話に「デジタルタトゥー」という言葉が出てきましたが、一旦アップしたメッセージや画像は、二度と消すことが不可能になる場合もありうるという覚悟が必要です。

便利な道具に振り回されて不幸な思いをするのでは全く意味がありません。親子で今一度、話題にするきっかけとなれば幸いです。

